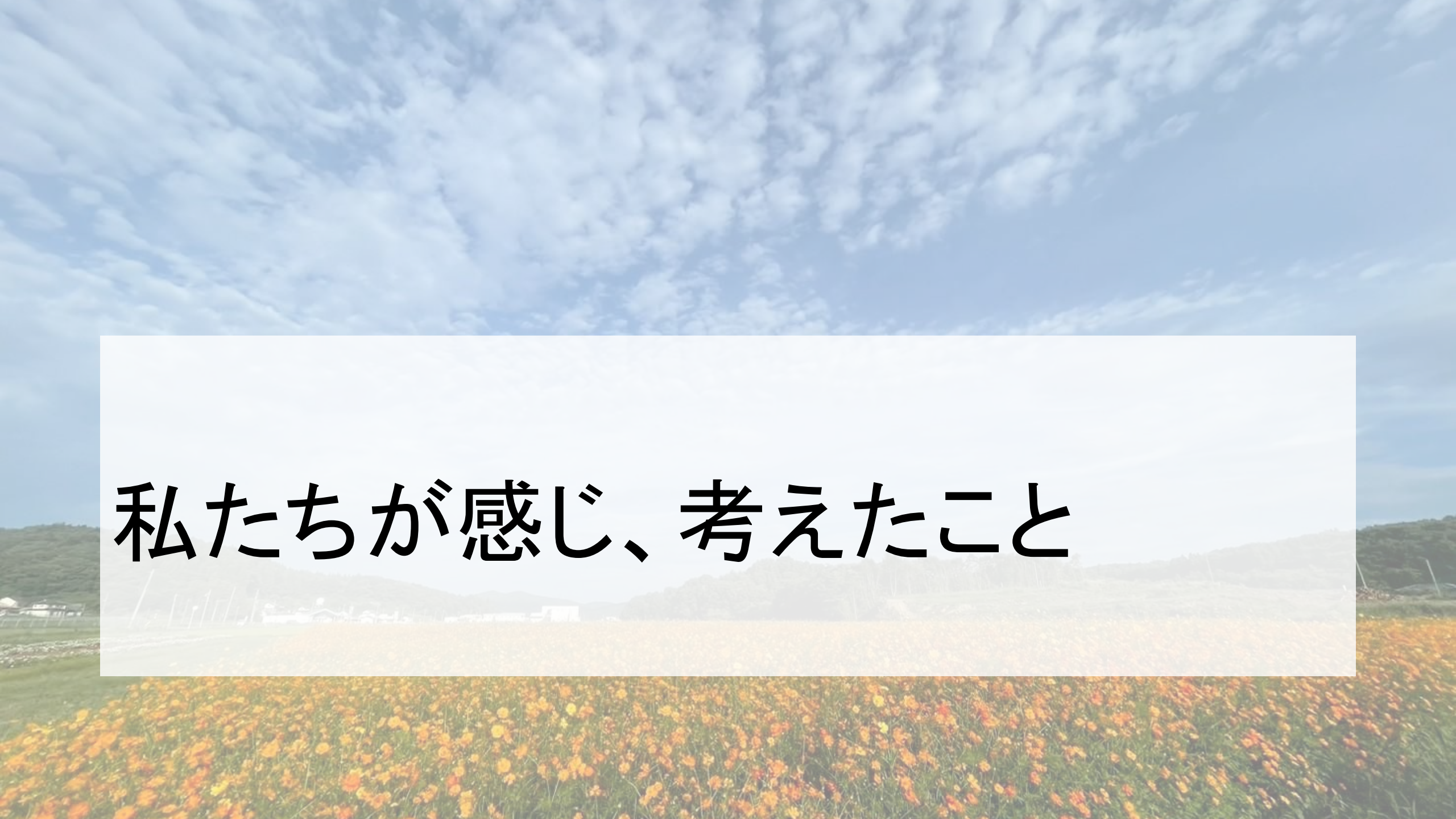


8月飯舘B班

今西春仁 窪田未来 澤田一馬
庄子登真 高橋瑠奈 水野唯衣



私たちが感じ、考えたこと

私たちが、学んだこと・感じたこと

- 未だに残る風評被害の問題

- 福島県産の牛肉が福島牛ではなく国産牛として売られている
- 安全性を数値的に説明されても不安はなかなか拭えない。

- 中間貯蔵土壌の再利用課題

- 除染土の放射線は基準値を大きく下回っているが、都道府県や自治体による受け入れが進んでいない。心理的な課題から受け入れに踏み切れない。

- 原発事故の風化

- 福島県産の農作物等の安全性をアピールするために放射線について触れることで、かえって無関心層の人々の不安を再燃させる可能性。

現地の人の思い・伝え方

- 原発事故の当事者（東電）
 - 事故を起こした立場から伝える
 - 将来のことを多く伝えたい
- 原発事故の被災者（大熊町）
 - 帰還困難区域の現状を伝えたい
 - 事故当時のことを感情的に伝える
- 原発事故の被災者（飯館村）
 - 震災前の文化を残したい
 - 本や資料サンプル、アートなど様々な媒体を用いて、見た人の心に残る伝え方を模索している

議論したこと

身近な人に福島のことを話してみよう！

Q. でもどうやって？

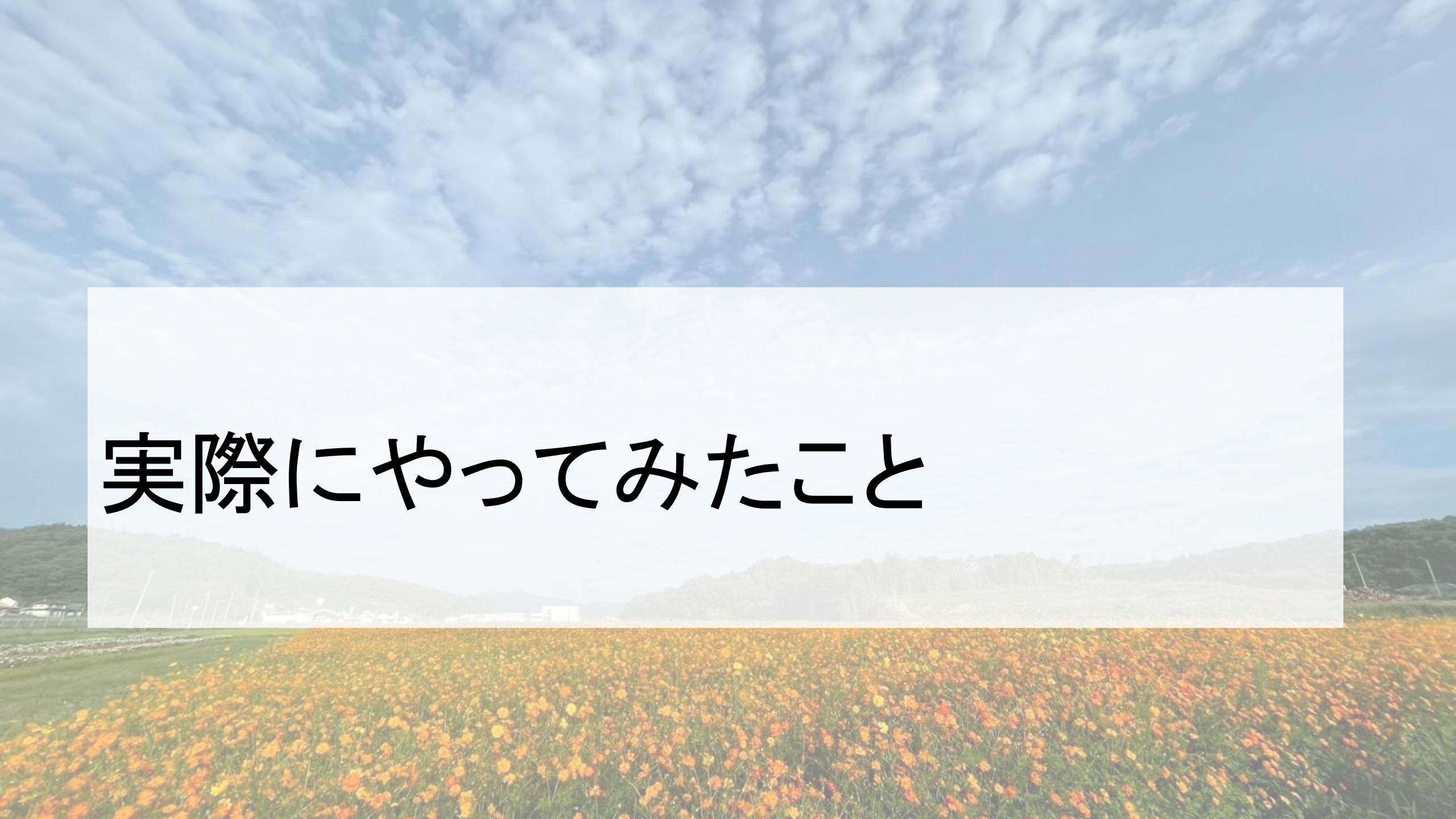
A. お土産を渡すことで話すきっかけを作れそう

Q. 伝える目的は？

A. まずは福島の良さを知ってもらいたい
話題に出すことで福島について考えてもらい

Q. 何を話す・伝えるの？

A. 福島の良さ(桃・飯館牛などの美味しさなど)
私たちがここで感じた事故の重み
1Fや中間貯蔵施設が見学できるという事実



実際にやってみたこと

お土産実践(半分失敗)

- 私たちが考えたこと
 - 見てきたこと・感じたことを伝えることの重要性
 - 無理なく、それでも何か力になるには？
- 身近な人に伝える
 - 顔が見える関係だからこそ(「息子が言うなら」「同級生が言うなら」)
 - お土産きっかけに、福島やについて知ってもらうだけでも意味がある
- やってみて感じたこと
 - 福島の魅力、印象は伝えられる
 - 深い話にできない、難しい話をするのにはハードルが高い

実施の流れ

1. お土産

- 話のきっかけ、福島の魅力が伝えられるのでは？
- 一方で、深い話はできなかった

2. インタビュー・対話

- 「発表のため」と時間を取ってもらえばいいのでは？
- ただし、できる数は限られる

3. アンケート

- グーグルフォームでクイズ＋FBをしたらいいのでは？



対話の事例×4

インタビュー実践（狭く深く伝える）

- 目的：成果発表会のため、聞き取り・経験共有
- 方法：30分～1時間程度のおしゃべり
- 倫理的配慮：参加・辞退の自由、個人情報の匿名化
- インタビューガイドの作成
 - フェイスシート（所属、年代、福島との関わりなど）
 - 福島全般・現状について
 - 風評被害について
 - 放射線について
 - 1F・中間貯蔵施設について
 - 私たちにできること

事例①

- 対象者 両親50代
- 両親ともに兵庫県出身で、今まで福島との関わりは全くない。
- 震災当時は放射線の報道も多く食べ物の放射能汚染などが心配だった。
- 特殊な防護服を着なくても1Fを見学できるとは知らなかった。
- 福島のPRなどをテレビやネットで目にするが、福島のものに直接触れていないためどうしても人ごとにしてしまう。
- 今まで放射線について学んだことがなかった。
- 住んでいる自治体が除染土壌を受け入れることはあまり賛成できない。リスクが少しでもあるなら、受け入れには抵抗感がある。

事例②

- 対象者 両親50代
- 両親ともに仙台市在住。父は福島県いわき市出身、母は仙台市出身。
- 福島県の応援のためにも福島県産食品はよく食べる。安全であることは理解している（放射能濃度の基準値などは正確には知らない）
- 常磐道に設置されている線量計（約 $2\mu\text{Sv/h}$ ）をみて、「これってどの程度の数値なの？」と質問してきた。危険ではないのはわかるが、定量的な説明はできない。
- 原発の廃炉作業のことや除染土の再生利用についてもよく知らないようだった。
- 福島への偏見はなく同じ東北としてむしろ応援しているが、放射線関係の知識が十分にあるわけでない

事例③

- ・対象者：知人 30代 関西在住
- ・原発当時高校生。当時、東北に出向き災害復興のボランティアに参加していたが、福島には行ったことがない。
- ・福島の印象：原発がある。聖光学院のイメージ。
- ・原発などの事前知識：ネットフリックスで『THE DAYS』というドラマを見た。当時のことはわかったが、今の現状はわからない。

インタビュー後

- ・1Fのなかに入れることには驚き。当時から14年以上も経過しているけどまだ帰れない人もいるのか。除染土壌の最終処分が法律によって決定していることも知らなかった。今の福島について知れた気がする。

事例④

- 対象者: 両親 50代
- 福島の影響: 原発のイメージが強いが、福島県産の農作物などに対しては抵抗がない。
- 事前知識: 放射線の具体的な基準値や環境放射線については知らなかったが、処理水の安全性や首相官邸で除染土が再利用された事例など、汚染土の再利用についてはある程度理解していた。
- インタビューでの気づき: 被災地域の中には帰還可能になるまで数十年かかる場所もあることに驚いていた。また、第一原発に防護服無しで一般人が入れることを知らなかった。思っていたよりも廃炉に時間がかかっている。



アンケート結果抜粋

アンケート(広く浅く伝える)

- Googleフォームを使用
- 答えのある問題10問(FBで正しい回答と簡単な解説)
 - 放射線について
 - 原子力発電所について
- 意識調査7問
 - 福島イメージや震災時の記憶
 - 福島産や除去土壌、処理水への意識

意識調査結果（任意回答）

- 福島県産の野菜や魚、お肉を買うか
 - 特に意識していないためわからない: 40名/56名
 - 買うこともある: 15名/56名



実は、消費者はそれほど意識をしていない
(だとしたら、どの段階で意識?)

クイズ結果（回答58名）

- 第一原子力発電所は現在、
 - すでに稼働されている：2名（3%）
 - 地震津波対策をした上で稼働再開を検討中：14名（24%）
 - 廃炉に向けて作業中：25名（42%）
 - 立ち入り禁止で、今後の方針は未だ決まっていない：17名（29%）



**廃炉予定であること、作業が進みつつあることが
知られていないと言える**

クイズ結果（回答58名）

- 第一原子力発電所は(3択)
 - 一般人でも見学可、防護服等必要なし: 9名 (16%)
 - 一般人でも見学可、防護服等が義務化: 11名 (19%)
 - 一部関係者以外立ち入り不可、防護服必須: 38名 (66%)



立ち入り不可・防護服必須と考えている人が多い

- 「放射線＝防護服＝危険」イメージが払拭できていない？
 - 見学できることを知ってもらう必要がある

意識調査結果（任意回答）

- 帰還困難区域/福島第一原発の敷地に入ることは怖いか

- **怖い: 18名 / 55名**

- **どちらかと言えば怖い: 26名 / 55名**

クイズ結果（回答58名）

- 原発事故により汚染された土壌(除去土壌)は、法律により、2045年までに、
 - 福島県内で除染され、元の土地に戻される: 17 (29%)
 - 福島県内で処分される: 17 (29%)
 - 福島県外で処分される: 24 (42%)



県外処分とされていることを知らない人が多い
元の土地に戻されると思っている人もいる

クイズ結果（回答58名）

- 現在中間貯蔵施設にある除去土壌は
 - 再生利用の可能性なし: 32名 (55%)
 - 基準値を超える土壌がほとんど: 13
 - 基準値を超える土壌は2割程度: 7
 - 基準値を超える土壌は0に等しい: 12
 - 基準値を超えないものは再生利用: 26名 (45%)
 - 基準値を超える土壌がほとんど: 6
 - 基準値を超える土壌は2割程度: 18
 - 基準値を超える土壌は0に等しい: 2



半分以上が、再生利用について知らなかった

意識調査結果（任意回答）

- 除去土壌を自分の住んでいる地域で受け入れることに積極的か
 - **絶対に受け入れたくない： 5名/55名**
 - **受け入れたくはないが仕方ない： 43名/55名**
 - 積極的に受け入れたい： 7名/55名

まとめ：良かった点

• アンケートで

- 福島の前提知識の提示、回答者の疑問点の整理
→スムーズにインタビューに移れた

• インタビューでは

- 相手の反応を見ながら丁寧に
- 時間をかけてじっくり対話
- 風評被害を再燃させるのでは...という懸念
→実際には安心して話せた
- 班員一人につき、少なくとも一人に体験を共有
→現地の人の思いをつなぐ。「自分ごと」に感じるひとを増やす

まとめ：課題点・今後の展望

- アンケート
 - ...相手の反応が見えづらい
- インタビュー
 - ...「伝えること」(経験共有)に集中するのは難しい
- 「広く浅く」では
 - 深い内容を届けるのが難しい
 - 誤解や不安を生む可能性が残る

今後は、伝え方の工夫や場づくりの改善が必要



ご清聴ありがとうございました